

# Furano Kotobuki Times no. 9

富良野市ことぶき大学  
富良野市教育委員会  
社会教育課  
電話 0167-39-2318  
令和3年11月24日(水)



## 先週末、2つの出会いがありました…

一つは、麓郷の雪景色です。

湿った雪は、麓郷の風景を幻想的な世界に変えました。20日の土曜の朝、10センチは積もったでしょうか。早速、カメラを取り出し外に出ました。落ち葉となって寂しくなっていた木々一面に「雪の花」が咲きました。正しくモノトーンの世界です。自然界の色をすべて混ぜると無彩色（モノトーン）になるといわれていますから、モノクロームの写真はカラー写真を超越しているとも言えるかもしれません。

もう一つは、灰谷健次郎との久々の再開でした。

これも20日の土曜の朝、NHKのテレビで「あの人に会いたい」という番組があります。そこで2006年（平成15年）72歳で亡くなった児童文学作家の灰谷健次郎の顔が飛び込んできました。「兎の眼」「太陽の子」…夢中で読んだ時がありました。エッセイから子どもの詩集など教師だった彼の作品が強烈に心に残っています。（妻は、子どもが生まれて、そろそろ読み聞かせをしてあげる1才位の頃に、妻より少し若い元教師のお母さんから灰谷健次郎の本を紹介されました。）

「せんせい けらいになれ」 小2 おおつか しんじ

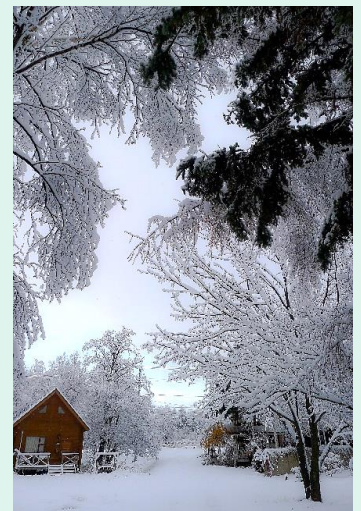
おれ もう先生きらいじゃ おれ きょう 目だまがとびでぐるい はらがたつたぞ おれ となりの子にしんせつにおしえてやっていたんやぞ おれ よそみなんかしていなかったぞ 先生でも手をついてあやまれ「しんじちゃん かにんしてください」といってあやまれ

（灰谷健次郎 私の出会った子どもたち 新潮社）

この詩の中に出てくる先生とは灰谷健次郎自身です。

子どもの心が見える教師になりたい…灰谷文学を通し、こどもと真摯に向き合う教師や教育の原点についてつくづく考えさせられました。

さて、今日は、「子ども未来づくりフォーラム」との出会いです。子どもたちの目線や視点に立った我が富良野の未来を見つめてみましょう。



## 本日24日(水)の日程

### 『子ども未来づくりフォーラム』

- 8時45分 集合（山部校バス着）
- 9時00分 子ども未来づくりフォーラム
- 11時30分 〃 終了予定
- 11時30分 合同自治会三役会議開催（15分）**
- 12時00分 山部行きバス発
- 13時00分 スコップ三味線同好会活動  
（文化会館2F大会議室）

本日、子ども未来づくりフォーラム終了後、この会場で合同自治会三役会議を開催します。内容は、来年1月15日予定の「新春の集い」についてです。よろしくお願ひします。

## 次回の予定

### 12月1日(水曜日)

午前 社会福祉協議会より健康講座  
軽い体操もします……

午後 「学校」視聴 ～田中邦衛を偲んで～

今年3月24日、88歳で亡くなった俳優 田中邦衛を偲んで視聴します。この作品で、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞しました。

東京の下町の一角にある夜間中学校が舞台です。

田中邦衛は、その生徒の一人「イノ」さんを演じています。幸福とは何かを問いかけています…1993年の作品、監督：山田洋次です。田中邦衛との再会です。お楽しみに……

忘れずに!

## 第一回 スマホ・PC・オンライン同好会活動

日時 11月26日(金) 午前10時00分～11時30分

場所 富良野図書館2F多目的室

スマホ、アイパッド、PCなど持参してください。

アイフォンやアイパッド(アップル社)を使用されている方は、

IDとパスワードが必要です。また、使い方など疑問なことがあれば何でもOK!です。気軽に参加ください。今後、必要に応じてオンラインなど利用してコミュニケーションの幅を広げていきたいと思っています。2回目は、12月2日(木曜日)AM10:00～11:30(富良野図書館)です。



## 2年ぶりの年末お楽しみ会

日時 12月15日(水) 午前日程(9時30から12時)

内容 例年であれば、学年の出し物があり、食事会があり、ミニコンサートもありますが、今年度は縮小して行います。

◎スコップ三味線同好会による演奏(20分)

◎クリスマスライブ(スペシャルゲストをお迎えします)(60分)

◎自治会でお弁当を用意しますが、持ち帰りとなります。

なお、お弁当の注文もありますので、12月1日(水)まで学年ごと参加人数を自治会事務局まで報告してください。



## 寄稿文ご紹介

「新聞配達、古希過の記憶」その2

ことぶき大学大学院1年 伊藤公雅

(…前号からの続き)

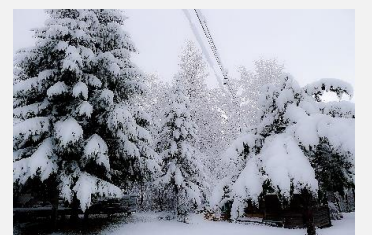
……配達先の軒下をくぐり、空き家になった昭和初期の皇族が利用した古い洋館調の建物を横切る際、窓から何かが見えるのではと、臆病な感情を押し殺し、その境内を抜ける。

新規加入宅に配達の日、その日は吹雪、川を挟んだ田畑の向こうに民家が見えた。迂回橋を渡り、見当をつけて伺ったが、“隣ですよ”と、しかし、吹雪で見え隠れするほど遠くに有り、強風を手で遮りながら吹き曝され、雪で埋まった側溝と境界が判らない農道を小走り、やっとの思いで配達する事ができました。

また、ある日、新聞を戸の隙間から入れようとした際、同じ学校の女生徒の上級生と窓ガラス越しに、目が合い、普段学校では見かける程度だが、お互い何か気まずい思いもした。

しかし、そんな中、冬のある晴れた日、東の空が青みがさしてくると大雪の山々が影絵の如く、浮かび上がり、その上空には、明けの明星が眩しく、明るく光っていた。そして、日が昇り始めると、山陰から剣を突き立てた様な光り輝く一本の線が天空の伸び、今まで見た事がない不思議な光景を目の当たりにし、実に清々しく感じられた。その事を思い出す度、不甲斐ない自分に勇気と希望を与えてくれた様な気がした。

古希を過ぎた今、生ある内に、また見てみたい……そのような心境にかられる情景でした。



**スコップ三味線同好会** 「冬美のソーラン節」DVDをOBの黒須さんからいただきました。難しい曲なので、今日でも視聴しながら練習します。

**映画同好会** 2回目は、12月14日(火曜日)9:30～です。内容は後日お知らせしますので。お楽しみに!!